

会 議 録

平成 24 年 5 月 20 日調製

審議会等名	平成23年度 第2回三条市文化振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成24年3月21日（月） 午後2時～午後4時		
開催場所	中央公民館 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 阿部涼子委員長、中村勝副委員長、花柳雅鶴委員、田村和豊委員、 椛澤伸治委員、樋山利浩委員、鶴巻純子委員 三条市 金子生涯学習課長、鶴巻生涯学習課長補佐、長谷川文化振興係長 （欠席者） 櫻井綾委員、大原貞雄委員、浅野真理子委員		
協議題	(1) 平成23年度文化芸術事業の実施状況について (2) 平成24年度文化芸術事業計画（案）について (3) 平成24年度三条市文化振興基金の活用（案）について (4) その他		
金子課長	（挨拶）		
阿部委員長	第2回文化振興に関する懇談会を開催する。議題（1）の「平成23年度文化芸術事業の実施状況について」事務局より説明をお願いします。		
金子課長	（資料1により説明）		
阿部委員長	説明について、質問をお願いします。		
中村副委員長	わくわく文化未来塾の参加者の個人負担はあるか。		
金子課長	材料費等だけである。		
中村副委員長	芸術鑑賞ツアーについて、何度も参加されている方はいるか。		
金子課長	1年の間には1回の参加でお願いしている。年度を違えてまた応募していただく。		
田村委員	改めてこの会の目的について確認したい。市の文化行政一般について考えていくのか、基金の活用について検討するのか。		
金子課長	これまで三条市の文化芸術について広く意見を聞く場がなかったことからこの懇談会を設けた。また、もうひとつとして、文化振興基金の有効活用を見いだしたいと考えており、2つの役割である。		
阿部委員長	基金の活用については、議題（3）の「今後の文化芸術基金について」で話し合うこととする。他に意見はないか。		
花柳委員	三条市音楽祭について、昨年ロックの部を拝見したが、客席に空席があるようだ。プログラムを事前に配布するなどもっと入場者を増やすことを考えられてはどうか。		

田村委員	三条音楽祭は音楽協会の委託事業であるが、確かにロックの部は入場者が少ない。これまで出演時間がずれ込んだりしていたところがあったが、23年度は出演時間を守り、観客を増やすということに関しても工夫をしていくと話しており、徐々に育っていくと考えている。
阿部委員長	今、ロックの部の話だったが、他の部門でも、自分たちの発表さえすればいいという傾向があるようだ。入場者を増やすことについての意見もあったので、今後の検討をお願いする。 説明の中の、後援についてお聞きするが、他市の施設で実施のものについても後援しているが、どういう基準か。例えば、見附のアルカディアの「矢沢幸・生命の詩の集い」や県写真家協会公募展である。また、燕市出身の鈴木園男展であるが、個人の個展の場合は減免はないと認識しているがどうか。
金子課長	三条市の団体が実施し、三条市民が参加できるものについては後援している。 矢沢幸については、三条市の病院に入院されていたことから三条市と関わりが多いという理由である。県写真家協会公募展は新潟市や長岡市など各市でも後援をしている。鈴木園男展であるが三条高校出身であり、地元で実行委員会を組織され後援申請をお出しになった。団体という扱いで後援をした。
阿部委員長	他にないようなので、議題（２）「平成24年度文化芸術事業計画（案）」について説明をお願いする。
金子課長	（資料2により説明）
阿部委員長	それでは平成24年度の計画案についてご意見をお願いしたい。
田村委員	三条楽音祭についてお聞きする。予算は200万円位であったと思う。不確かな情報であるが出演者も集まってくる人たちもあぶない感じの人たちだと聞いたがどうか。
金子課長	予算は負担金260万円である。そもそも市職員の提案の事業で、音楽ということで生涯学習課の担当となった。レゲエという音楽ジャンルが中心でファッションが奇抜なところはあるが、ご心配のようなことはない。若者の交流イベントとして定着しているという評価もある。自由な雰囲気のお祭りということで考えていただきたい。
阿部委員長	終了後も騒がしかったというようなことを聞いている。これが生涯学習課の事業とは思わなかった。地域おこしのものと考えたら、生涯学習課がやらなくてもいいし、入場料を取ってもいいのではないかと思う。
花柳委員	昨年は入場者が3,600人で大変多い。出演交渉は生涯学習課がやるのか。
金子課長	実行委員会を実施している。プロのバンド等に依頼をする。
阿部委員長	プロのならば、やはり入場料を取ってもいいのではないかと思う。
金子課長	飲食店や物販店が出て賑やかなお祭りであり、純然たる音楽鑑賞とは違っている。
鶴巻委員	文化振興関係の事業について、おおよその予算はどれくらいか。また、市展はどれくらいか。

金子課長	全体としては、約1,300万円、市展は330万円である。
阿部委員長	市展にもっと予算をかけてもいいと思う。
中村副委員長	市展の目録がカラーになるということだが、販売してもいいと思う。
金子課長	今年は無料と考えている。
鶴巻委員	「映画を観まSHOW」について聞きたい。これは無料なのか。
金子課長	ワーナーマイカルと連携した事業で、映画の普及宣伝のために実施している。無料である。見附市でも実施している。鑑賞後意見交換を行っている。
阿部委員長	広報を見ると映画の内容が出ていないが、わからないのか。
金子課長	広報の締切りが1ヶ月と早いので、間に合わない。
鶴巻委員	24年度は美術館めぐりが無いが、実施しないのか。続けて行ってほしいと思う。
金子課長	三条市の関係の方の展覧会を中心に計画していきたいと考えている。現在のところ年間のスケジュールが明らかになっていない。内容を見ながら計画していきたい。情報があればお聞かせ願いたいと思う。県立美術館で岩田正巳展開催の情報は聞いている。
田村委員	音楽に関連して、新潟市は毎年全市域の小学校5年生が「りゅーとぴあ」でコンサートを聴いている。三条市ではこのようなことが可能か。
金子課長	学校関係の事業となると思うが、県の事業で、学校にオーケストラ等を派遣して学校で聞く、という事業を、現在実施している。一昨年は下田中学校で実施した。
阿部委員長	次年度事業で、文化振興基金を活用予定の事業はどれか。
金子課長	青少年文化振興事業の「わくわく文化未来塾」と芸術鑑賞ツアーである。
中村副委員長	「わくわく文化未来塾」についてお聞きするが、講師はどなたか。
金子課長	書道連盟の方をお願いしている。講座の受講希望者は多い。
中村副委員長	学校での書道の授業時間数が減っていると聞いている。
阿部委員長	学校での状況について、樋山委員からお聞かせ願いたい。
樋山委員	中学校の現状についてお話しすると、書道についてであるが、校内で一斉書き初めを行い、市や県に出品もしている。そういう取組を通して学校全体としては一生懸命に取り組んでいる。美術については、週に1回1時間か2時間の現状であるが、各中学校に美術部や吹奏楽部もあり、意欲的に取り組んでいるし、将来のためにも感動する体験が大切と考えている。ただ、指導者や用具の問題もあり課題である。外部講師をお願いしている学校もあると聞いている。
金子課長	部活の指導を地域からの指導者で実施しているということはあるか。
樋山委員	体育の指導者では、部活の顧問の他にボランティアでお手伝いをお願いしている。
金子課長	文化についても、学校で指導するということについて、お聞きしたい。
阿部委員長	きちんとした予算付けがないと、ボランティアでは続いていけないと思う。

田村委員	<p>学校も地域コーディネーターを採用したりと地域と連携をしていっているようである。三条市では合唱コンクールに出場している学校がほとんどない状況なので、申し出があれば、音楽協会から指導者を派遣することは可能である。</p> <p>「わくわく文化未来塾」にも合唱講座が今回から入っているようで、ジュニア合唱団メンバーが増えていくといいと思う。</p>
阿部委員長	次に、協議題（３）、（４）について説明をお願いします。
金子課長	<p>（３）「平成２４年度三条市文化振興基金の活用（案）について」であるが、平成２５年度以降についてもご意見をお聞かせ願いたい。２５年度に生誕１２０年岩田正巳展を考えている。また、今後取り組むべき事業についてご意見をお願いしたい。美術、音楽や舞台芸術で、三条市出身の若手の方のパフォーマンスをやりたいと考えている。</p> <p>（４）その他で、文化振興基金についてのPRについてであるが、基金のPRチラシを作成し、事業で配布をしてはどうかと考えている。</p>
鶴巻委員	岩田正巳展の会場はどこか。
金子課長	東公民館を考えている。
阿部委員長	声楽の佐藤まどかさんなど、三条出身で若手である。
鶴巻委員	<p>若手作家展覧会については、刺激となりいいと思う。</p> <p>基金については、寄付をはたらきかけてはどうか。</p>
田村委員	具体的な目標がはっきりしないと張り合いがないので、目標を決めて実施していてもいいと思う。
阿部会長	<p>団体で実施する各事業で募金箱を置き、募金を募り、団体で寄付をすることは可能であると思う。市の予算も減少傾向なので、市民の力でやっていくことを考えていかなければならないと思う。</p> <p>以上をもって、平成23年度第2回三条市文化芸術振興に関する懇談会を終了する。</p>